

民間助成金情報

基金名	内容	助成対象	助成金額	申請期限
(財)福武教育文化振興財団 平成20年度 文化活動助成	<p>◆伝統文化部門 地域の伝統文化の保存・伝承、郷土の歴史や文化の掘り起こしに関する普及・調査研究活動</p> <p>◆現代文化部門 芸術・芸能などの文化創造や普及活動、環境保全や生活改善活動の調査研究活動</p>	岡山県内で文化活動・調査研究を行っている個人・団体	<p>上限30万円</p> <p>※財団が必要と認めた場合は上限50万円</p>	4月30日(水)必着
三井物産環境基金 2008年度 第1回 活動助成	<p>次の活動に対して助成を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球気候変動問題</li> <li>・水産資源の保護・食料確保</li> <li>・表土の保全・森林の保護</li> <li>・エネルギー問題</li> <li>・水資源の保全</li> <li>・生物多様性及び生態系の保全</li> <li>・持続可能社会構築のための調査とネットワーク(様々な主体と協働)</li> </ul>	<p>NPO法人</p> <p>中間法人</p> <p>財団法人</p> <p>社団法人</p> <p>大学</p>	総額最大3億円	4月30日(水)消印有効

※助成金の詳細な情報は、「笠岡市市民活動支援センター」のホームページ内「助成金情報」をご参照ください。

かわら版

市民活動支援センター



▲島の大運動会

▼海岸清掃



●これまでの取り組み  
笠岡市は、平成16年4月1日に協働のまちづくりに関する基本理念を定めた「笠岡市みんなが輝くまちづくり条例」を施行し、さまざまな市民活動団体などの協働を進めてきました。

また、これまでも協働という言葉を意識することなく、協働の取り組みがいろいろな形で行われてきました。

●策定までの過程  
平成19年4月から協働のまちづくり課でたたき台となる素案作成を始め、その案をもとに8月から市民と職員を交えた趣旨説明会を6回にわたって開催しました。

その後、市民の皆様との協働によって成案とするため、趣旨説明会に参加された人の中から有志の人に検討委員になっていただき、9月から1



●新たなステップへ  
さらに協働を進めるためには、考え方や言葉の意味・留意点などをまとめたものが必要となり、平成19年度に「笠岡市協働のまちづくりガイドライン」を作成することになりました。

●周知・啓発活動を始めます  
協働のまちづくりを進めて行くためには、ガイドラインの周知・啓発が必要です。

このガイドラインの考え方を基に、さまざまな事業を展開していくためです。

これから1年間、ガイドラインの内容に沿って「協働」について、お話ししていこうと思います。

なお、「笠岡市協働のまちづくりガイドライン」は、市のホームページをご参照いただくか、協働のまちづくり課(笠岡シーサイドモール内)で印刷したものをお配りしています。

次回は、なぜ協働が必要なのかについてお話しします。



▲趣旨説明会

月までの間、5回にわたり協議を行いました。

そして、平成20年2月に成案が完成しました。